



# 学校だより

西寺尾第二小学校  
12月  
令和5年11月27日



## 実りの秋

校長 宮崎 里子

日中は小春日和が続きますが、朝晩と寒暖の差が激しい毎日で体温調節が難しいところです。もうすぐ12月。この学校だよりを書いている本日11月21日(火)には3年生の神奈川県児童音楽会が神奈川県公会堂で行われました。

コロナ禍では飛沫に係る課題が問題視され、学校の音楽教育はずいぶん不自由な思いをしました。私は教員としても長く音楽教育に携わってきました。音楽は子どもたちが自分らしさを伸ばし、友達のよさを認め、心が通い合う瞬間が実現できるかけがえのない大切な教科であると思っています。この3年間、歌はマスクをつけたまま、リコーダーは演奏見合わせ、では何ならできるのか・・・音楽に関わる教員は本当に悩みながら授業を行ってきました。昨年度より3年間行われなかった神奈川県児童音楽会が参加任意で再開され、本年度は従前通りの実施となり、多くの区内の小学校がリコーダーにもチャレンジしました。本校の子どもたちもリコーダー「聖者の行進」、斉唱「夕日が背中を押してくる」を発表しました。



嬉しそうにリコーダーを奏する子ども。身体でリズムをとりながら打楽器を奏する子ども。国語で習った詩を歌い上げ、情景を思い浮かべながら満面の笑みの子ども。

子どもたちの演奏の様子を見て、ああ、従前の音楽会が戻ってきたんだ、と心の底から喜びが湧き上がってきました。会場の皆さんには子どもたちの見た目からも、奏でる音からも、一生懸命さや、この一瞬を生きている命のきらめき、仲間と時間を共有できた幸せを受け取っていただけたに違いありません。

長い歴史の中では繰り返し疫病の記述があり、このコロナウイルスの猛威も確実に史実に加わるでしょう。

ここまでの困難な状況下、学校教育は「学びを止めない」を合言葉にGIGAスクール構想の推進による様々な学びの形態を工夫して、この時期を耐えてきました。もちろん、現在も感染症が無くなったわけではないので、生活面で手洗いの励行等に留意することには変わりありません。

しかし、学校はこれからも子どもたちが体験を通して学ぶことを大切にして、教育活動を行っていきます。保護者の皆様にはご理解いただきたく、なにかご心配なことはどうぞお聞かせください。

今月28日(火)には5年生が子安小学校と区球技交流会(バスケットボール・サッカー)を実施します。真剣に勝負することや応援の仕方、相手への敬意等子どもたちはスポーツマンシップを学び、練習の成果を発揮して堂々と試合をしてくれることを望んでいます。

11月に入り読書週間も始まって、学校図書館の利用者数も増えました。図書委員会作の葉っぱの葉がもらえるのも人気でした。30日(木)の中休みには、読み聞かせボランティアの皆さんによる大きな手作りペープサートでの特別読み聞かせにもあり、今から楽しみです。保護者の皆様もよろしければ是非、ご参観ください。

音楽の秋、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋?睡眠の秋?

みなさんの秋がどうか実り豊かでありますように!